



イメージを読む作法

-映像、写真、そしてマンガ-

2008年7月26日(土)・13時30分～17時

京都大学総合博物館セミナー室にて

人文科学のさまざまな対象を、どういう方法で研究しているのか、第一線の研究をされている先生達から手ほどきをうけませんか？

歴史、芸術、思想など、人に関わるあらゆる文化現象を研究する人文科学。そのメッカ、京都大学人文科学研究所が主催。

好評だった昨年に引き続き、魅力あるプログラムで第2回目を開催します。

プログラム

13:30-13:40 ごあいさつ

13:40-14:40 北原恵（大阪大学文学部准教授）

「"真実らしさ"はいかに作られるか - 映像分析入門 - 」

14:50-15:50 表智之（京都国際マンガミュージアム研究員）

「マンガをウラから読んでみる - マンガ分析入門 - 」

16:00-17:00 菊地暁（京都大学人文科学研究所助教）

「棚田が美しいということ - 写真分析入門 - 」



先生たちからのメッセージ

本や雑誌や新聞で、テレビやネットやケータイで、私たちは日々、無数のイメージを眺めながら暮らしています。その膨大なイメージの生産、流通、消費は、私たちの生活に何をもたらしているのでしょうか。ふだん見過ごしがちな現象をトコトン考え抜く、人文科学研究の醍醐味を堪能してほしいと思います。

先生たちのプロフィール

北原恵、大阪大学文学部准教授、専門は表象文化論、著書に『アート・アクティヴィズム』、『攪乱分子@境界』

表智之、京都国際マンガミュージアム研究員、専門は思想史・マンガ研究、共著に『差別と向き合うマンガたち』

菊地暁、京都大学人文科学研究所助教、専門は民俗学、著書に『柳田国男と民俗学の近代』、共著に『京大人気講義シリーズ・身体論のすすめ』

参加費無料：但し入館料300円必要

申込：不要（当日、学生証を提示願います）

問い合わせ先：〒601-8501

京都市左京区吉田本町・京大総合博物館

TEL 075-753-2721/3272

共催：京都大学総合博物館・京都大学好奇心ネットワーク

